

# オアシス

医療法人 済恵会 広報誌

2026年1月

NO.105



第32回群馬県老人保健施設大会 大会長として登壇する会長

- 2-3P 地域の皆さまとともに、安心と希望の2026年へ
- 4P 群馬県老人保健施設大会が開催
- 5P AIで「心」をつなぐ時間を増やしたい。
- 6P 地域のそばで、人の人生に寄り添う仕事を。
- 7P 新春の空に舞う伝統の技！  
安中若鷺会による梯子乗り
- 8P 2026年二十歳集い(成人式)を迎えて

医療法人  
済恵会

## 須藤病院

安中市安中3532-5  
TEL 027(382)3131

介護老人保健施設  
めぐみ

デイサービス  
さくら

居宅介護支援事業所  
こかげ

訪問介護サービス  
ひだまり



地域の皆さまとともに、  
安心と希望の2026年へ  
理事長・院長 須藤 雄仁

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さまには、日頃より当院の診療にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年2025年は医療機関、特に病院にとって非常に厳しい一年でありました。社会の急速な変化とともに、医療を取り巻く環境も大きく様変わりし、私自身、医療の在り方をあらためて深く考えさせられた一年であったと感じております。

変化の波は避けることができません。その中で、私たちは知恵を絞り、柔軟に対応していくことが求められています。

しかし一方で、どれほど時代が変わっても、決して変わらないものがあることも、あらためて強く実感しています。

それは「患者さんの想い」です。

— 具合が悪いときに、安心して診てもらえること。

— 必要なときに、適切な診断と治療を受けられること。

これこそが、地域に根ざした病院に寄せられる、何よりのニーズであると考えています。

当院は2026年を、その原点に立ち返り、さらに前進する一年と位置づけています。その一環として、来年度より診療体制のさらなる充実を図ってまいります。

まず眼科では、常勤医として飯塚美咲先生を迎えることとなりました。安中地区では眼科を受診される患者さんが非常に多く、これまで週2回(午前)の非常勤外来に限られていましたが、来年度より平日週4日の診療体制となります。加えて土曜日は現在の午前診療を継続し、群馬大学眼科からの非常勤医師が担当いたします。視力低下、白内障、緑内障、糖尿病網膜症など、高齢の方にも多い疾患に対し、より身近で継続的な診療が可能となります。

また、乳腺・内分泌外科においては、私の群馬大学外科センター時代の同門であり、現在、埼玉県立がんセンター乳腺外科部長を務める松本広志先生の外来が新たに開設されます。常勤医の星野先生、石田先生と合わせて3人体制となり、平日は毎日、さらに隔週の土曜日にも診療を行ってまいります。

眼科、乳腺・内分泌外科はいずれも検診において非常に重要な診療科です。検診で異常を指摘された場合も、当院でそのまま精密検査から治療まで対応できる体制が整い、皆さまにとって、より利用しやすい病院になるものと考えております。

このほか、今年度より開設した耳鼻咽喉科、泌尿器科につきましても、多くの患者さんからご好評の声をいただいております。日常のちょっとした不調から専門的な診療まで、どうぞお気軽にご相談ください。

先行きが見えにくい時代だからこそ、私たちは地域の声に真摯に耳を傾け、必要とされる医療を形にしていきたいと考えています。

2026年が、皆さまにとって少しでも安心と希望を感じられる一年となるよう、職員一同、心をひとつにして努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 感染性胃腸炎にご注意 感染委員より

「感染性胃腸炎」は、一年を通して発症しています。特に冬は「ノロウイルス」による胃腸炎が増加するため注意が必要です。現在、施設をはじめ当院入院患者さんも増加しています。原因はいろいろありますが、突然、嘔気や嘔吐、下痢などの症状が始まります。

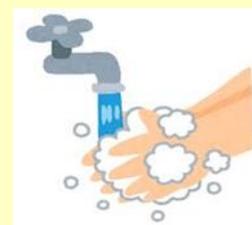
### ◆ ノロウイルスによる胃腸炎にかからないためには

- ① 一番の予防は、「石鹸で丁寧に手を洗う」ことです。

ノロウイルスは、アルコール消毒が効きにくい特徴があります。

◎外から帰ったとき ◎トイレのあと(糞便後は特に) ◎食事の前などのタイミングで、しっかり手を洗いウイルスを洗い流しましょう。

- ② 二枚貝(カキなど)は、中までしっかり加熱してから食べましょう。



### ◆ ノロウイルスによる胃腸炎をうつさないためには

嘔吐物や糞便で汚れた衣類や場所は、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)による消毒が効果的です。必要濃度に合わせ使用してください。

- ◆ 症状がある場合は、我慢をせず早めに受診をして下さい。



# 群馬県老人保健施設大会が開催

令和7年11月15日、安中市文化センターにおいて第32回群馬県老人保健施設大会が開催されました。

当施設の須藤英仁会長が大会長を務めた今大会のテーマは「あらためて考える、老健とDX\*」でした。県内の61施設から465名の老健施設職員、一般市民の方56名、来賓者15名のご参加を頂き、各施設における取り組みや成果について発表と意見交換が行われました。



当施設からは「生成AIを活用したケアプラン作成の実践と検討」というテーマで演題発表させていただきました。全入所者を対象に作成が求められるケアプラン(施設介護計画)の文書作成を生成AIが担うことで、職員が利用者様一人ひとりと直接関わる時間を確保し、より丁寧な情報収集や課題分析に時間を使うことができるのではないか、という視点から実践内容を紹介しました。当日は生成AIを用いたケアプラン作成の実演も行い、参加者から関心を寄せていただきました。

また、当施設介護主任の土工より「DXの落とし穴」と題して、電子カルテ導入後の課題について発表させていただきました。日々の介護記録入力において、パソコン操作やタイピングに苦手意識を持つ職員も一定数おり、記録業務に要する時間が増加している現状もあることが紹介されました。

今回、大会参加と発表の機会をいただいたことは大変貴重な経験になりました。

DXの取り組みでは、無理に新しい技術を取り入れるのではなく、職員の声を聞きながら、使いやすい形を探っていくことが大切だと思います。

ITを上手に活用することで、職員にゆとりが生まれ、利用者様が満足できるケアにつながっていくことを目指したいと考えています。

そして、大会の特別講演では歌手の今陽子さんをお招きし、認知症になった母親が劇的な回復を遂げたトークショーとライブパフォーマンスが披露され、会場は大いに盛り上がりました。

介護老人保健施設 めぐみ 施設ケアマネ 長野

\* DX : IT(情報の保存・処理・伝達技術)で業務や生活を革新し、社会をより良く変えること



(向かって左より)群馬県老人保健施設協会 理事長・今陽子さん・会長

# AIで「心」をつなぐ時間を増やしたい。

## — 高崎安中支部のケアマネジャーが最新技術を体験 —

令和8年1月15日、地域のケアマネジャーが集まる研修会が開催されました。主催は、一般社団法人群馬県介護支援専門員協会の高崎安中支部。会場となった須藤病院の柳澤肇副院長は、同支部の副支部長も務めており、「地域のケアマネさんのために」と病院の会議室を学びの場として提供しています。



### 今回のテーマは、今話題の「AI（人工知能）」

「AIを活用して効率アップ！！音声入力で支援経過記録作成をマスターしよう」と題し、40名のケアマネジャーさんが最新の技術を体験しました。

スマホに話しかけるだけで記録が完成？ケアマネジャーさんのお仕事は、実は書類作成がとても多いのをご存知でしょうか。利用者様やご家族様と面談した内容を、あとでパソコンに打ち込む作業は一苦勞です。

そこで今回体験したのは、スマートフォンを使った「音声入力」です。

スマホに向かって話した内容が、そのままパソコンの記録表に文章としてスラスラと出来上がっていく様子に、参加者の皆さんからも驚きの声が上がっていました。

### 大切なのは「個人情報の保護」と「人の目」

もちろん、AIに全てを任せるわけではありません。

氏名や住所などの大切な個人情報は絶対に入力出来ません。AIが作った文章は必ず人の目で確認して修正します。AIはあくまで「下書き担当」の助手として、上手に付き合っていくことが大切なのです。

### すべては利用者様と向き合うために

講師の先生からは、こんな素敵なお話がありました。

「AIを上手に使うことで、書類を書く時間を減らすことができます。その分、利用者様やご家族様とゆっくり向き合い、お話を聞く時間を増やしてほしいのです。」

参加したケアマネジャーさんたちは、自分の業務の中でどこにAIを取り入れられるか真剣に振り返っていました。

地域の介護を支えるプロたちが、新しい技術を学びながら、より手厚いケアを目指して進化しています。未来の介護が、もっと温かく、寄り添うものになることを期待させてくれる研修会となりました。

# 地域のそばで、 人の人生に寄り添う仕事を。

済恵会須藤病院は、地域の皆様の健康と暮らしを支える“身近な医療の拠点”として、日々一人ひとりの患者さんと向き合ってきました。

新年度からの診療業務拡大に伴い、私たちは今、新たな仲間を必要としています。

求めているのは、特別な経験や肩書きよりも、「人の役に立ちたい」「地域の力になりたい」という思いです。

看護師・介護士・管理栄養士・視能訓練士などの有資格者の方はもちろん、ナースエイド(看護補助者)や事務職員など、資格がなくても、学ぶ意欲と温かい気持ちがあれば、私たちは心から歓迎します。

当院には、職種や立場を超えて支え合い、「ありがとう」が日常にあふれる職場環境があります。

地域に必要とされ、自分の仕事に誇りを持てる—そんな働き方が、ここにはあります。あなたの想いと踏み出す一歩が、必ず誰かの支えになります。ご本人はもちろん、お知り合いの方のご紹介も大歓迎です。

地域医療の未来を、私たちと一緒に作りませんか。皆様からのご連絡を、心よりお待ちしております。

副院長 佐藤 明美



お問い合わせは TEL 027(382)3131 須藤病院 総務部 事務長 林まで

# 新春の空に舞う伝統の技！安中若鷺会による梯子乗り



新春の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

1月10日(土)、ケアハウス ジョリエやなせの駐車場で「安中若鷺会」の皆さまをお招きし、新春恒例の梯子乗りを披露していただきました。

この催しは、昨年市内の施設で見学させていただいた職員の「ぜひジョリエの入居者様にも、この迫力ある伝統芸を間近で見たい」という強い思いから実現したものです。

若鷺会の皆さまには、ご多忙なスケジュールの合間を縫って快諾をいただき、今回の開催へと至りました。

当日は雲一つない快晴に恵まれたものの、冬特有の冷たい風が吹き抜ける厳しい寒さとなりました。開始前、入居者の皆さまは寒さに身を縮めていらっしゃいましたが、いざ威勢の良い掛け声とともに梯子乗りが始まると、その場の空気は一変。高さ数メートルもの梯子の上で次々と繰り出される華麗な技の数々に、皆さま寒さを忘れたかのように食い入るように見つめていらっしゃいました。見事に技が決まるたび、会場には大きな歓声と割れんばかりの拍手が響き渡りました。

地元・安中にお住まいの方々にとっては馴染み深い行事ということもあり、「昔を思い出して懐かしいね」と目を細めて喜ばれる姿が印象的でした。また、当日は地域住民の方々にもお越しいただき、温かい豚汁を振る舞いながら交流を深めるなど、心温まるひとときとなりました。

安中若鷺会の皆さま、素晴らしい演舞を本当にありがとうございました。

皆さまの無病息災と健康長寿、そして健やかな毎日を祈念し、ジョリエやなせは今年も元気いっぱい歩んでまいります。



# 2026年成人式を迎えて



## 永井 看護学生



無事に成人を迎えることができました。看護学校に通いながら病院で働く中で、多くの学びと温かいご指導をいただいていることに心より感謝しています。成人としての自覚を大切に、これからも一つひとつの経験を糧に、患者様に寄り添える看護師を目指して努力していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 上原 看護学生



この度、無事に成人を迎えることができました。これまで支えてくださった家族や、温かく見守ってくださった地域の皆様に心より感謝申し上げます。現在は看護学生として学業や実習に励みながら、多くのことを学ばせていただいています。今後も感謝の気持ち忘れず、患者様や地域の皆様に明るく接することができるよう、日々努力してまいります。



**病院公式SNS是非ご覧ください**

※当院SNSに掲載する情報の正確さについては注意しておりますが、公式な情報については当院のホームページをご確認ください。